

平成 27 年度第 7 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「クルーザーに乗って霞ヶ浦を体感しよう！！

～霞ヶ浦の文化的サービスと残したいふるさとの風景」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 8 月 22 日（土） 9 時 30 分から 16 時 10 分まで

開催場所：行方市麻生 天王崎公園周辺および天王崎観光交流センター会議室

参加者：44 名

今回は麻生ヨットクラブの岡里様をはじめクラブのメンバーの方々の御協力のもと、クルーザーに乗船させて頂き、霞ヶ浦がわたしたちに与えてくれる景色の美しさや風の気持ちよさを体感することを目的に実施しました。参加者のほとんどがこのクラスの船に乗るのは初めてで、霞ヶ浦に船で沖にでること自体、初めての方も多く、とても良い体験になったようでした。また麻生ヨットクラブのクルーの方々の説明がとてもわかりやすく、操船やヨットにまつわるお話など興味深いお話をしていただき大好評でした。

現地に 11 時に到着、昼食休憩を挟んで、12 時から観察会をスタートしました。休憩中も待ちきれない子どもの参加者は目の前に広がる砂浜に繰り出していました。

観察会は参加者を 3 グループに分け、1 グループが 3 艘のクルーザーに分乗して沖に出ている間、他の 2 グループが投網体験や魚の観察を行い、参加者全員が交代でクルーザーに乗ることができました。

乗船時間は各グループ 30 分ほどでした。港を出港し、エンジンを切って、帆を広げ、風による帆走のみで動くクルーザーは、とても静かで穏やかな風と波の音がよく聞こえました。また、沖から見る風景は格別で、みなさん一様に「楽しかった！」「とてもいい思い出ができた」「霞ヶ浦の広さを実感できた」等々、楽しそうに感想を話してくれました。

また、砂浜のほうでは中村パートナー、腰塚パートナーを中心に投網教室と魚の観察を行いました。80cm くらいはあろうかというハクレンが砂浜に打ち上がっていたり、投網に大きなボラが入ったり、投網の打ち方を教えてもらい、練習するうちに、めきめき上達して、自分たちで魚を捕まえるたりと、こちらも充実した内容でした。

最後に岡里様から、霞ヶ浦とヨットについて、またヨットの魅力についてお話を頂きました。近年、若い人のヨット人口が減っているそうで、今回参加した子どもの参加者のなかから、将来ヨット競技に興味を持ってくれる人がでてくれば良いなと思いました。

今回の観察会は生態系サービスのなかの文化的サービスについて、実際にその恵みを享受することを目的に行ったのですが、難しい言葉で説明するよりも、実際に体感してもらうことが、理解してもらう近道だと実感しました。また、今日の観察会によって霞ヶ浦のファンが増えることを願っています。

今回は麻生ヨットクラブの皆様の御協力により、充実した観察会を行うことができました。また、生き物観察ではパートナーの中村さんや腰塚さんにお世話になりました。そして、参加者のみなさん、大変ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子の一部を御紹介します。



クルーザーと麻生ヨットクラブの方々。



砂浜では魚の観察会をおこないました。



沖に出ると帆を上げます。



帆を上げて風を受けて進みます。



併走するヨット（上）お世話になった岡里様（右）

